

平成 27 年度第 4 回下田市総合教育会議 会議録

平成 28 年 2 月 26 日(金)17 時 00 分 第 4 回下田市総合教育会議を下田市立中央公民館大会議室で開催した。

出席者は次のとおりである。

(委員)

市長 楠山 俊介
教育長 佐々木文夫
教育委員 田中とし子
教育委員 渡邊 亮治
教育委員 土屋 康宣

(事務局)

総務課長 稲葉一三雄
学校教育課長 峯岸 勉
生涯学習課長 鈴木 孝子
学校教育課参事 山梨 弘樹
学校教育課長補佐兼学校教育係長 佐々木雅昭
総務課長補佐兼庶務係長 佐藤 政年
総務課主事 宮崎想太郎

1. 総務課長 17 時 00 分開会を宣す。

2. 議事

(1) 学校再編について

学校教育課長より資料①に基づき説明

総務課長 それでは、始めに資料の内容につきましてご質問があればお願いいたします。

【質問なし】

総務課長 ただいま説明にありました内容は、数字的には中学校の再編については「するべき」という意見の保護者が半数、「どちらともいえない」という方が 4 割弱、「反対」の方については小学校については 13%、中学校については 10%となっており、再編が必要ということが数字上では示されております。ただ、保護者の方も段階的に進めるか一校化で進めるかにつきましては、かなり数字が拮抗している状況です。また、先生方についても統合については賛成の方が多いのですが、一校化か段階的に進めるかについてはやはりかなり数字が拮抗している状況になっております。このようなことを踏まえまして、各委員さんからご意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。

田中委員 今日資料をいただいたものですから、まだ十分読み込んでなくて思うような意見も出てこないのですが、私は答申どおりに段階的に統合を進めていくことが良いと判断しておりました。新たに一校化の意見が出てきてその判断に大変迷っていますが、もう少しこのアンケートの結果を分析しながら、例えば、「どちらともいえない」という

方の意見もまとめながら、この中で段階的に進める上でどのようなメリット、デメリットがあるのか、それから一校化でもメリット、デメリットがどのようなところにあるのかということ进行分类しながら考えていくということが必要ではないかと思ひます。

私が始めに考へていた段階的に進めていくことの良さと、アンケートに書かれた多くの皆さんの意見の中で、私の気づかないようなものもたくさんありましたので、そういうところを丁寧に見ながら判断していくことが必要だと思ひます。

渡邊委員

アンケートの結果、「どちらともいえない」という方の割合が高いため、その方々の意見がどちら寄りなのか、細かく調べるとか意見を聞くということによって判断していくことが良いと思ひます。

土屋委員

私は審議会からの答申どおり、まずは稲梓と稲生沢の統合をすべきだと考へていましたが、この会議を進めていく中で市長、教育長からもお話がありましたとおり、これからの下田市の小学生、中学生の生徒数が激減する見込みがあり、一度に一校化した方が段階的に進めるより子どもたちにとって良いのではないかという気持ちに変わってきました。アンケート結果を見ていると、「どちらともいえない」という方々の心情というのは、これからの下田市の生徒数の減少を伝えることによって一校化の方が好ましいのではないかという方向に移っていくのではないかと思ひます。

教育長

統合について賛成か反対かということについては賛成の意見が多いですが、統合の仕方について「どちらともいえない」という意見をもう少し分析をしていかなければならないということと、まだ十分に見ていないのですが「通学の金銭面の不安」や「通学時間の問題」というものがかなり多かったように感じます。この部分の分析をすることで見えてくる部分もあるのかなと思ひますので、アンケートの意見を重要視していくことが大切だと思ひます。1日も早く結果を分析してある程度結果をまず出し、その後どのような手立てがあるのかということ考へていかなければならないと思ひます。

市長

当然一校化の部分についてはメリット、デメリットがあるわけですが、アンケート結果を見させていただき、賛成している方は生徒数の多い環境で得られるメリットの部分強調していると思ひます。多くの人数の中で切磋琢磨できる環境や、部活動においてもスポーツだけでなく文化的な活動もできるなど、子どもたちに色々な可能性を与えられる環境になるというものがほとんどの賛成意見かなと思ひます。

反対されている方の中では、やはり不安があり、例えばいじめが増えるのではなからうとか、通学の距離や費用についてもかなり心配している方がいらっしやいます。スクールバスがどうなるかという問題がはっきりするのかというところがありますが、このことはまだ具体的に進んでいないことでありまして具体的に答えられないのですが、このあたりのことをきちんと整備していかないと次の意見を聞くということができませんので、そういう意味では統合した方が良いとどうかということだけで

はなくて、統合した場合にはこういう整備をするとかどのような整備が必要なのかといったことを具体的に論議する場所や環境を作っていかなければ、保護者の方や先生方が危惧されていることの質問に答えられないと思いますので、これからそのようなことを検討する場所が必要になってくるのではないかと思います。

それから、段階的に進めるべきだという意見の中には慣れを重視しているのではないかと思います。結果的に一校化とするのであればあまりにも段階を踏みすぎると子どもたちにとって落ち着かない環境になり、制服等色々な形で経済的な負担が増えるのではなかろうかということ言われている方たちもおられますので、危惧されていることをどのように解決していくのかということを検討する場所が必要で、この総合教育会議の中でそこまでのことを毎回集まってやるわけにはいきませんので、作業部会的なものの中で話を進めていかないと、皆さんの賛成、反対の意見に答えていけないのではないかと思います。

総務課長

今、皆様の意見を一通り伺ったわけでありましたが、折角アンケートを行い色々な意見が出てきていますので、これを分析することで当然課題も見えてくるとは思いますし、先にここで結論を出していくということやるのか、それとも分析して課題を見ながらそのようなことを整理する場所を設けるといったご意見が多かったと思いますが、一度確認をしたいのですが今日ここで結論を出すという形ではできないように捉えたのですが、そのようなことでよろしいでしょうか。

【承認される】

総務課長

それでは、今日は結論が出ませんので今後どのような作業をしていくかということも含めて確認したいと思います。まず、アンケートの分析という部分ですけれども、アンケートの意見についての分析や集計をすべきだという意見が委員の皆様の意見でも多くありましたので、大変だと思いますが学校教育課の方でやってもらえるでしょうか。

学校教育課長

説明の際にも申し上げましたが、時間が無かったためにやりきれなかった部分を学校の方でやっていただいたわけでありましたが、このようにやってくださいということ言わなかったものですから、学年ごとに細かくまとめてくれた学校もありましたし、大まかに意見を書いて数を後から追加したという学校もありましたので、やはりもう少し効率的な方法で整理する必要があると思います。

総務課長

皆様からの意見でも「どちらともいえない」という意見が気になっているということですので、そのあたりについて一度手法を検討しながら、分析をするということしていきたいと思います。

それから、市長の方からも出ましたが、作業部会についてですが何らかの会を作って具体的に進めていった方が良くはないかということですが、その検討するよう

な場所を職員で作るのか、それとも学校の先生やPTAの代表の方などに集まっていたら、この分析結果についても見ていただき議論を積み重ねた中で、総合教育会議の方針を最終決定するのかということですが、その手法について何かご意見があればと思うのですがいかがでしょうか。

田中委員 作業部会というのは、一校化か段階的かを最終決定するための作業部会ですか。それとも、結論が出た上でどのように進めていくか検討するものですか。

総務課長 前段の結論を出すためのものです。それがないと、統合は良いとしても、段階的か一校化の意見が拮抗していますのでこのままでは判断できません。その判断をするための作業部会又は組織を考えています。

田中委員 そうなりますと、答申の方では「段階的に進めて将来的には一校化が望ましい」という結論が出ているわけです。多くの人の目で見えて考えることが本当は一番安定していて良いわけですが、作業部会というものは具体的にどういうものになるのでしょうか。

総務課長 やり方は色々ありますけれど、庁内で市役所の職員が何か素案を作るというような形でプロジェクトチームを作るわけですが、これは役所の職員がいくら集まって考えても、考えて済む話ではないものですから、今回の場合は庁内のプロジェクトというものではなくて、父兄の方やPTAの代表や学校の先生、それから区長さんや統合に反対しておられる方などに今回のアンケートの結果をお伝えした上で議論してもらおうということを2箇月又は3箇月やっていただいてから、その方向を決めるなどやり方は色々あると思います。

市長 再編について一校化で進めるべきだという意見は数字で見れば半数ほどになりますが、「どちらともいえない」という方たちがどのような考えでおられるのかというところが結構重要だと思います。せっかくアンケートで数字や意見を出してもらっているので、これをもっと上手に整理していくとメリットやデメリットが見えてくると思います。ただ数字だけを見てどちらが多いからそちらでいこうとはいきませんので、一度アンケートの意見を整理して作業部会的なもので議論していただいてから解決方法を導いていかなければ、総合教育会議のみでは結論に至らないと思います。

総務課長 今、市長から話がありましたが、今ここでどのような会議を行うかについて結論に至らないかと思うので、教育委員会の方で一度たたき台を作っていて、再度スケジュールやアンケートの分析結果も含めて会議を3月又は4月に行いたいと思います。現状において結論を出すには説明責任を果たすという面でリスクが残ると思います。また、いつかは結論を出さなければいけないことですので、例えば9月くらいを目途に最終的な結論を出すというような形をとればということだと思います。

市長 最終判断をどのタイミングでするかはまだ分かりませんが、アンケートの意見においてももう少し具体的な提案がないと、例えばスクールバスを出すのか出さないのかといったものがないと保護者の方々も判断が難しいと思います。

田中委員 昨年度、答申の説明に行った際も、保護者の方からは「いつ統合するのか」とか「通学に関する交通費はどのようになるのか」といった質問を多く受けました。ある程度具体的なものを提示していかないと、「どちらともいえない」と答えている保護者の方の中にはそういう方が多くいらっしゃるのではないかと思います。

教育長 そうしますと、そのような作業部会を立ち上げる際にある程度意見をまとめて分析を行うことになるかと思いますが、財政的な部分については同時進行で検討していくことになるのでしょうか。

総務課長 おそらく同時並行で行うことになると思います。例えば、総務課の方でプロジェクトチームを立ち上げて、その中に財政やバスなどの関係する担当課を集めてアンケートの分析ができた段階でその解決策を市の方で出すという二段構えでやっていくということでそれを同時進行できれば、時間的なものも短縮できるのではないかと思います。教育委員会のみでやるのではなく、他の関係する課が応援する形を取らないとかなかなかうまくいかないと思います。

田中委員 一校化で進めるか段階的に進めるかの結論を出す時期はいつごろになるのでしょうか。

総務課長 始めは今日あたりに結論を出すという話でしたが、このアンケートの結果を見れば誰が見てもここで結論を出すということは難しいと思います。

田中委員 一年間くらいかけて行うのでしょうか。

総務課長 一年間かどうかは分かりませんが、あまり期間を延ばしますと稲梓中学校については待ったなしということも聞いていますので、方針決定については9月頃、6箇月間くらいを目標に見ておくのが良いと思います。

先ほど教育長からもありましたが、教育委員会の方で保護者の方やPTAの代表や先生方の会を作っていていただいて課題が出た際に、どのように解決できるかというところをその受け手がいないと困りますので、総務課の方で次の会議までにプロジェクトチームを作って出された課題についてはその中で解決していくということをしていきたいと思います。関係するところは財政やバス、通学路の関係などを含めて5つ程度の課になるかと思います。

教育長 そうなりますと、9月くらいにある程度の結論を出していこうということですが、その中で作業部会と庁内プロジェクトチームによって進めていくことになると思います。その中で地域に対して説明することや意見を聞くことが重要だと思います。

総務課長 アンケートの意見にもありましたが、こういったことを広く知らせていくことは大切だと思います。色々な手法がありますが、総務課の方で広報を持っていますのでそのような形で知らせていくことも可能だと思います。

先ほど、9月を目標に結論を出すという話でしたが、教育委員会で立ち上げた会と庁内のプロジェクトチームである程度の結論を出してから地区への説明に入るのか、それともその過程の中で地区に入るのかということですが、もしその過程の中で地区に入るということであれば目標を11月とか12月まで伸ばすということも含めて、教育委員会の方で段取りやスケジュールを作っていただきたいと思います。11月や12月という目標になるのであれば、市政懇話会を毎年行っておりますので、その中でこれを取り上げて地区への説明を行っていけば教育委員会の負担も軽減できるのではないかと思います。

地区への説明を踏まえて総合教育会議で結論を出すのか、それとも市のプロジェクトチームと保護者の方や先生方と出された課題を解決して9月に結論を出すという方法が良いのかというところを今日は最後に確認できれば、今後事務局や教育委員会で準備の方ができるとは思いますがいかかでしょうか。

市長 9月くらいまでに方針が見えればその後細かい部分について説明をして、それを終えた後に最終決定をしますという方が良いと思います。そのようにすればその経過を12月の議会に報告するという形も取れると思います。

また他の市町でも統合を行っているところがありますので、どのような手順を踏めば良いか一度調べていただきたいと思います。

土屋委員 4、5年かけて下田市の統合問題については審議会を立ち上げて答申を一度もらっていて、稲生沢中学校と稲梓中学校については統合し生徒数の激減などがあればその時点で再編についてもう一度考えようということになったわけです。今回アンケートを実施して、今後、総合教育会議で結論を出した後で地域に懇話会等で説明に入ると上からの押し付けと捉えられる可能性が高いと思います。

総務課長 9月までには庁内の事務的なプロジェクトチームと教育委員会で立ち上げる会と協議した上で問題点を解決して方針を出していきます。それを総合教育会議が受けてそのことを地域に説明しに行き、さらにそれを総合教育会議で受けて最終決定をするという形で行きたいと思います。

田中委員 市としては子どもの教育についてどのように考えているのかというところを優先させていかないと、人数が少ないから単に一つにするということではなく、例えば「こ

ういったまちづくりをしていきたい」と考えるから一校化にしたいという形で皆さんに意見を聞いていかなければならないと考えます。基本的な理念を持って総合教育会議ではこのように考えますが、皆さんの意見はどうですかという形で問いかけていくべきだと思います。当然、その意見はもう変わりませんとするのではなく、皆さんの意見を聞いて今後検討しますという形を取るべきではないでしょうか。

総務課長

恐らく、今後アンケート結果の分析をして総合教育会議において段階的に進めるか一校で行くのかという結論を、子どもたちにはこういう理由でこれが絶対に良いという説明ができるという状況になれば、その手もあると思います。しかし、前回までは若干意見が割れていて皆さんの意見も簡単にまとまるような段階ではありませんでしたので、今回アンケートを行った経緯もあります。私としては結論を出すにあたって慎重に進めていくというように理解しています。

教育委員会の方でPTAの方や先生を含めた準備会を立ち上げて、メンバー案やスケジュール案について次回提出する、事務局の方では、庁内のプロジェクトチームについての案を作成して、教育委員会とプロジェクトチームの関係する中でどのようなスケジュールに組み込むのかという部分を次回提出させていただきます。

また、その中で方針を立てる目標を9月として、その後地域にその方針について説明を行い総合教育会議で最終決定をする時期は11月か12月ということによろしいでしょうか。

【承認される】

(2)その他

【意見なし】

3. 総務課長 18時10分に閉会を宣す。